

体制となる予定の内科、外科および小児科の基本診療と、鉦路市内の総合病院との連携による整形外科および脳神経外科の定期診療を行うほか、24時間救急と人工透析の医療提供体制を維持してまいります。

病棟体制については、急性期から慢性期までのさまざまな病態の患者の受け入れに対応するとともに、高度医療や専門治療が必要とされる患者には、鉦路市内の総合病院などへの適切な紹介を速やかに行ってまいります。

医療従事者の確保については、この地域で必要とされる医療を維持するための最重要課題であり、常勤医師のほか、看護師および薬剤師の確保にも全力で取り組んでまいります。病院経営については、人口減少などにより患者数が減少する中で医療収益が減収となる一方、人件費や物価の高騰により費用が増加し、厳しい経営状況が続いていることから、『町立厚岸病院経営強化プラン』に掲げた経営強化の取り組みにより経営改善に努め、公立病院としての使命と役割を果たしてまいります。

小児救急やドクターヘリ運航などの広域救急医療については、管内市町村や関係機関との連携により、その体制維持に努めるとともに、厚岸郡の救急医療体制についても、引き続き浜中町との協議を進め、連携し

て取り組んでまいります。

地域福祉については、『第4期厚岸町地域福祉計画』に掲げる目標を達成できるよう、厚岸町社会福祉協議会をはじめ、地域福祉に関わる機関や団体と連携した取り組みを行うとともに、本計画の計画期間が最終年度を迎えることから、さらなる福祉の進展を図るため、第5期計画を策定いたします。

また、家族介護者であるケアラーや複数の課題を抱える家庭への支援を一体的に行う重層的支援体制の整備に向け、事業の充実を図ってまいります。

高齢者福祉については、『第9期厚岸町高齢者保健福祉計画』に掲げる目標を達成できるよう、各種の事業や取り組みを推進してまいります。

また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、医療機関や介護事業所をはじめとする関係機関との連携強化および生活支援サービスの適切な運用や生活支援コーディネーターを中心とした地域の支え合い体制の充実を図るとともに、地域ケア会議を通じて現状における地域課題を検討しながら、関係機関とのネットワークの構築を進めてまいります。

さらに、緊急通報システム事業やSOSネットワークをはじめとする

個々の生活相談に適切に対応し、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度などの各種制度に繋げるなど、生活実態に即した支援に努めてまいります。

また、低所得の高齢者世帯、ひとり親世帯を支援するため、福祉灯油等購入助成事業の制度を継続してまいります。

未来を切り拓く力を育み、豊かな人間性にあふれるまち

教育委員会と連携し、新たな『厚岸町教育大綱』に基づき、教育環境の充実を図ることは、私の重要な使命であります。

総合教育会議を通じ、教育委員会と十分な意思疎通を図り、地域の教育課題や、あるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進してまいります。

そこで、私に関する教育行政について申し上げます。

学校における教育環境の充実については、児童生徒の継続した学びを保障するため、安全・安心な学校生活を送ることができるよう、感染症対策や熱中症対策などの健康的な学習環境の充実にも努めてまいります。また、厚岸小学校のトイレ改修と真龍中学校体育館のLED照明改修、校務支援端末の更新を行います。

就学支援については、保護者負担



地域の見守り体制の構築を推進するとともに、認知症サポーターなどの人材養成や認知症に対する理解を深めるための普及啓発を進めていくほか、高齢者の外出を支援する福祉交通回数券の充実と介護予防意識の向上を図る元氣いきいき高齢者応援事業を引き続き実施いたします。

特別養護老人ホーム心と園と在宅老人デイサービスセンターについては、指定管理者との情報共有を図り、継続的かつ安定的な管理運営と入居者・利用者の安心に資するため、引き続き施設の適切な維持管理を行うほか、感染症対策や防災対策に努めるとともに、第三者評価事業を実施してまいります。

を軽減するため、学校給食費の無償化や一部教材購入費の全額公費負担、修学旅行経費の半額助成、経済的理由による就学困難な児童生徒の保護者への援助費の一部支給を引き続き実施してまいります。

厚岸翔洋高等学校については、通学バス定期券購入助成のほか、新たに若潮寮入寮者に対する寮費の一部を助成するとともに、入学志願者確保のため、学校と連携して道内外へ積極的に周知してまいります。

生涯学習の推進については、引き続き姉妹都市のオーストラリア・クラレンス市と友好都市の山形県村山市との交流事業を推進し、友好の絆を一層深めてまいります。



また、老朽化した特別養護老人ホーム心と園等の整備は、基本構想を踏まえ、整備計画に向けた検討を進めてまいります。

介護老人保健施設『ここみ』については、超高齢社会を支える重要な役割を担う施設として、入所者自らの力で日常生活を送ることができるよう、リハビリを中心としたサービスの提供と安定した施設運営に取り組んでまいります。

障がい福祉については、本年度を始期とする『第6期厚岸町障がい者基本計画』と『第7期厚岸町障がい福祉計画』に基づき、訪問入浴サービス事業や日中一時支援事業など、障がいのある人の地域での生活支援や自宅で常時介護する家族への支援などを引き続き実施するほか、経済的負担の軽減を図るため、身体障害者手帳の交付申請などの各種制度を利用する際に必要となる診断書等の取得費用や身体障害者手帳の交付対象とならない難聴者の補聴器購入費用に対する助成制度を継続してまいります。

また、障がいのある人などが安心して暮らしていけるよう、事業者や関係機関・団体と連携し、ノーマライゼーションの普及・浸透を進めてまいります。

国民健康保険については、被保険者の健康の保持増進を図るため、特

文化財保護については、アッケシソウ栽培地におけるより良い生育状態を目指して地盤改良を図るとともに、引き続き、自生地の保護・増殖の研究および町民を対象とした学習会を実施してまいります。

また、自生地でもある岡山県浅口市との情報交換や学校間交流についても推進してまいります。

スポーツの推進については、健康維持や運動促進、競技能力向上のため、温水プールを通年開館とし、その利用拡大を図るほか、多目的屋内スポーツ施設等の利用促進を図るとともに、スポーツ合宿のさらなる誘致を進めてまいります。

多様なつながりにより、共に生き、共に創り上げる持続可能なまち

広報活動については、広報あつけしや町要覧、ホームページ、SNSにより、町民の皆さんの暮らしに役立つ情報や町内の話題などを発信するとともに、広聴活動では、町民の声を広く取り上げ、町民参加による協働のまちづくりを促進してまいります。

庁舎の利用については、来庁者の利便性向上を図るため、見やすく分かりやすい案内表示と適宜の情報提供に努めてまいります。

自治会活動については、自治会へ